

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』 に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

[kW]

指示日時	平成30年2月17日（土） 15 時 56 分		
対象エリア	九州エリア 種子島		
出力制御期間	平成30年2月18日（日） 09時00分～16時00分		
出力制御指示を行った出力の合計	最大余剰電力発生時刻	14時	
	出力制御必要量	1,670	
	制御設備量 [※]	2,586	
最大余剰電力発生時点の予想需給状況	エリア需要予想	14,700	
	発電出力合計	16,370	
	内 訳	水力	—
		火力 (内燃力機最低出力)	8,250
		自然変動電源	8,120
その他		—	
その他	—		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値

以上